

議会だより

# ふな状た

No.200

6年/10月号



発行：山形県舟形町議会  
令和6年10月25日



第2回臨時会・9月定例会概要・質疑応答 .....	2P
決算審査特別委員会概要・監査委員意見書・質疑応答 ..	4P
町政を問う 一般質問に6議員・模擬議員8名が質問 ..	9P
議会だよりモニターの声 .....	20P
議会活動 .....	22P
えがったなあ・町民の声・編集後記 .....	24P

表紙のことは  
23Pにあります。



農道側に堆積している流木等

地域整備課長 農地復旧の方で進めますが、現場を確認して検討させていただきながらの対応となります。

議員 災害を受けた田畑から撤去した流木やごみ等々を農道の脇に積み置きしてあるものについて最終的に農家の負担になるのか。

農地災害復旧

第2回臨時会

質疑応答

議員 65歳から対象のワクチン接種補助内容とは。  
健康福祉課長 通常のワクチン接種料に対して、国の補助が8300円です。さらに町では、5500円補助します。(医療機関によって料金は異なります。)

新型コロナワクチン接種

9月定例会

議員 映画チケット代補助金の内容は。  
健康福祉課長 若年性アルツハイマー型認知症と診断された方の実話をもとに制作された映画「オレンジランプ」の上映に対する補助金です。  
当日券1500円、小・中・高生800円に対して町で補助をすることで当日券1000円、小・中・高生500円で観賞できます。この映画は県内市町村で上映されていますが、チケット代に補助をするのは舟形町が初めてです。

映画チケット代補助

議員 中学校工事費の補正内容は。  
教育課長 厨房調理室のエアコンが4月に壊れてしまい、油を使用する場所に対応している業務用のエアコンの購入費用です。

エアコン購入費



油・煙に強いステンレスタイプエアコン(2台)

被災者生活支援

議員 被災者生活再建支援事業の内容は。  
住民税務課長 県の事業で全壊住宅について300万円、大規模半壊について250万円の支援金を支給します。

議員 今回の床上浸水11軒に対する支援制度は。

住民税務課長 災害救助法に基づき応急修理を行なった場合に一世帯当たり71万7千円を上限に支援があります。また、県から住宅の半壊に20万円以内、一部破損・床上浸水に10万円以内のお見舞金が届けられます。

補正予算 気になる中身をピックアップ!

災害復旧費 21億668万円  
被災した公共土木施設、農地、農業用施設(農道、水路、揚水機等)、公共施設(河川公園、温泉グラウンド等)、上下水道施設等への支援を行うものです。  
POINT 財源は国・県からの補助金と、町債を活用  
激甚災害に指定(9月11日)  
国の災害対策費が大幅にアップ

被災者生活再建支援事業 最大300万円の支援  
対象者/罹災証明により、住宅が「全壊」、「大規模半壊、中規模半壊」等と判断された世帯  
補助額/全壊:基礎支援金75万円~100万円+加算支援金37万5000円~200万円  
大規模半壊:基礎支援金37万5000円~50万円+加算支援金37万5000円~200万円  
中規模半壊:基礎支援金なし、加算支援金18万7500円~100万円  
POINT 災害により住宅が全壊するなど著しい被害を受けた世帯に、山形県と舟形町が連携して支援するものです。

被災者生活支援事業 最大189万円の支援  
舟形町独自支援事業  
住宅、小屋、家電等への補助(9割補助、上限70万円)  
山形県災害見舞金(20万円以内)  
国から71万7000円以内の補助  
POINT 災害救助法の適用により、半壊住宅の応急修理に対する国の補助や床上浸水以上の修理等に対する町の補助、県からの見舞金などの制度があります。

全議案の採決結果は8ページに掲載

第2回臨時会 8月30日  
9月定例会 9月4日~11日

一般会計補正予算24億700万円  
豪雨災害対策で大幅増

令和6年7月25日から、今まで経験したことのない記録的な豪雨により、甚大な被害が起き、大幅な補正予算を編成し、災害復旧に取り組みしております。9月定例会は9月4日から11日まで8日間の日程で開催されました。一般質問では6名の議員が登壇し、町政運営や将来の展望について質しました。

町長提出案件は、令和6年度一般会計・特別会計補正予算5件、令和5年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告1件、舟形町教育委員会委員の任命2件、令和5年度決算の認定7件など全19議案が提出され、全て原案どおり可決しました。

# 決算審査特別委員会

令和5年度決算審査は、会期中の9月6日から10日まで特別委員会を設置し、委員長に荒澤広光、副委員長に伊藤欽一を選任し、一般会計、5特別会計、水道事業会計を慎重に審査しました。



あらさわ ひろみつ 荒澤 広光 委員長

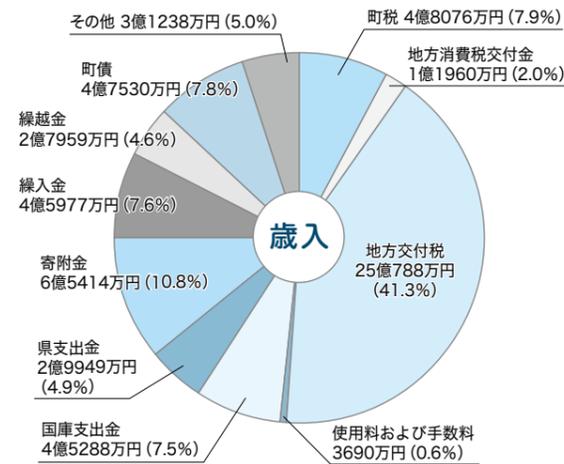
## 決算審査特別委員会委員長報告

決算審査特別委員会は、7会計について町長以下職員の説明を受け、各委員から多くの質疑が挙がり予算執行状況を慎重に審査した結果、妥当と判断しました。

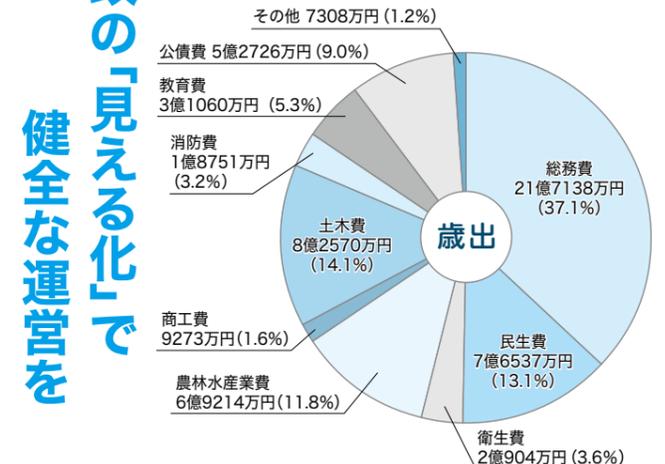
財政健全化比率は基準値を下回り健全であるが、町民の更なる生活向上に向けて「ふるさと納税の人口1人あたり寄付額」3年連続、「市町村税徴収率」7年連続県内1位を継続しており今後も期待いたします。

## 一般会計

### 歳入 (60億7869万円)



### 歳出 (58億5481万円)



歳入歳出差引額 **2億2388万円**

## 特別会計

会計別	歳入額	歳出額
国民健康保険事業	6億545万円	5億8110万円
後期高齢者医療事業	7449万円	7383万円
介護保険事業	7億9363万円	7億4915万円
農業集落排水事業	2億2757万円	2億622万円
公共下水道事業	2億3505万円	2億2502万円

## 水道事業会計

	収入	支出
水道事業*収益的収支	1億9969万円	1億9778万円
水道事業*資本的収支	5145万円	1億334万円

\*収益的…水道水を作り、各家庭へ届けるための費用。  
\*資本的…水道管などの施設整備費用や借入金の返済。

## 補正意見書

齊藤 徹 代表監査委員

決算関係書類を審査の結果、法令に適合し、計数は正確であることを確認しました。且つ、予算の執行、会計・経理事務の処理並びに財産の取得・管理・処分についても適正と評価致します。また、財政健全化法に基づく判断比率は各比率とも基準値を下回り、当町の財政は健全であると認められます。

### 補正意見

令和5年度も、特筆に値する成果が見られた。  
第一、東北農林専門職大学総合プロジェクト事業。学生・教職員用アパート全戸が満室となった。この快挙は専門職大学建学の意義をいち早く認識した施策と、各課から横断的に選任された職員チームの結束力の成果。  
第二、デジタルファースト推進事業。第7次総合発展計画の重点プロジェクトとして、国のデジタル田園都市国家構想に基づき、積雪深モニタリングシステム導入を始め、先進的な事業への果敢な挑戦とその成果。  
第三、山形県内ナンバーワンの自治体を目指して。①ふるさと納税の人口1人当たりの寄付額が、3年連続して県内第1位②山形県市町村税徴収率(現年課税分)が、7年間県内1位。担当者並びに関係各位の取組み姿勢を、高く評価致したい。

## 質疑応答

### 歳入

町たばこ税

議員 令和5年度のたばこ税額は2300万円になっているが、過去3年間の推移は。

住民税務課長 令和2年度約2012万円、令和3年度約2318万円、令和4年度約2450万円となっています。

### 歳出

コンビニ交付証明発行

議員 令和5年度の利用件数は何件あったのか。

住民税務課長 住民票186件、印鑑証明書150件、合わせて336件の利用がありました。



休日も含めて6:30~23:00まで利用可能

## 空き家対策

議員 令和5年12月に空き家対策特別措置法が改定されましたが、当町の管理不全と認定された空き家は何件か。

地域整備課長 令和4年9月の調査では危険度C(老朽化が激しい)が22件、危険度D(危険が切迫)が25件、令和6年2月時点では危険度Cが18件、危険度Dが23件と把握しています。

## 町報に保存用穴を

議員 町報を保存するのに穴が空いていないと不便であり、以前のように開けてほしいとの声が多いが対応できないか。

まちづくり課長 穴を空けると文章の文字数や写真の掲載が制限されてしまいます。見開いたときに2ページにわたる写真や文章の掲載により、魅力的な広報を目指してまいりたいため、現時点では考えておりません。

## 町内の積雪調査場所

議員 積雪調査場所の箇所と箇所数は。

総務課長 野町内、生涯学習センター、舟形小学校、農村環境改善センター、西又町内、松橋町内の6カ所になります。

## 省エネ住宅補助

議員 ふながた楽々あったか100歳住宅補助金は高断熱高気密住宅補助と併用可能なか。

地域整備課長 やまがた省エネ健康住宅の認証を受けることが採択要件で併用は可能です。加えて、窓部をトリプルガラス、高断熱材の基準以上が対象になり、新築100万円、リフォームの場合30万円が補助金の上限になります。



トリプルガラスを使用した高気密・高断熱住宅

## 災害ボランティア

議員 社会福祉協議会と町では災害ボランティアの受け入れ体制について、どのように進めているのか。

健康福祉課長 災害時のボランティアセンターの設置は、マニュアルを作成し設置するようにしています。また、山形県の社会福祉協議会の職員を講師に招き研修などを実施しています。

### 健康ポイント

**議員** 「てとて」で健康ポイントに関わる事業と、介護予防教室の講師の選定はどのように決めているのか。また、町内にいる脳トレ講師は活用できないのか。

**健康福祉課長** ゲンキ介護予防教室を高齢者対象に週1回実施しています。また、親子ふれあい教室などにポイントを付与しています。また、脳トレニングは外部に講師を依頼していますが、町内に適任者がいれば検討します。



改修工事が順調に進んでいる交流サロン

### 学生送迎バス

**議員** 東北農林専門職大学の学生送迎バスを購入したが、現在の利用者は何名か。また、1年目からのリース補助の考えはないか。

**まちづくり課長** 学生10人が利用できるが、もとも自家用車を持つている学生もいますので利用者数は日に異なります。1年目からのリースの補助は考えていません。

### 騒音調査

**議員** 西堀地区の高規格道路騒音調査は平日に実施されたようだが、交通量の多い土日に実施できないのか。

**地域強靱化対策室長** 現在の交通量以上の状況になりましたら、更に調査することを確認してまいります。

休日の調査についても要望していきたいと考えております。

### 交流サロンの活用

**議員** 交流サロンとしての民間住宅の活用方法は。

**農業振興課長** 地域の皆さんと学生さんの意見を取り入れながら学生さんが自主的に使えるような施設にしていきたいと考えております。

### 人間ドック等拡充検診

**議員** 国民健康保険で、543名の方が特定検診を受けているが、町独自の1000円で受診できる3項目オプション検査を受けた方は何名いるのか。

**健康福祉課長** 343名の方が検査を受けており、受診率は63%になります。オプション検査につきましてはいろんな機会を利用して周知してまいります。

### 水道事業

**議員** 現在、全国的に問題視されている、水道水中の有機フッ素化合物の当町の含有率は。

**地域整備課長** 検査については任意であります。町として検査したところ、検査測定できる下限値以下の値で問題ありません。

### 児童交流

**議員** これまで世田谷区の子山崎小学校、代沢小学校の2校と長い交流を行ってきたが、来年度から山崎小学校1校になる経緯は。

**教育課長** 舟形小学校の児童1名に対して、世田谷区の児童5名程度を受け入れるという状況で、人数の差が大きく近年課題でした。来年度から山崎小学校との交流を継続してまいります。



冠水から水田を守る富田排水機場

### 富田排水機場

**議員** 災害時に富田排水機場ポンプ2台の内1台しか稼働していなかったため、県道が冠水したのでは。性能がアップしたポンプの設置は出来ないのか。

**地域整備課長** 2基稼働すれば、内水の水引時間の短縮にはなつたと想定できます。農林水産省の事業であり、現在は水稲が冠水し72時間以内に排水できる設計になっており、補助対象は同じ性能となります。



SUPボードを多用に活用。体格を考慮してS・Mタイプを完備

### B&G海洋センター

**議員** 備品購入費29万円で何を購入し、活用方法は。

**教育課長** SUPボード6台を購入しました。利用方法は、B&Gのプール閉鎖後、海洋性スポーツ教室を4回開催し、町民の健康づくりのために活用しております。



楽しかった小国川での川あそび

**議員** スクールバスの管理状況は。

### スクールバス

**議員** スクールバスの管理状況は。

**議員** スクールバスの管理状況は。

### ICT授業

**議員** タブレットを活用した授業の成果は。

**議員** タブレットを活用した授業の成果は。

**議員** タブレットを活用した授業の成果は。

# 町政を問う

## 一般質問に6人が登壇

おぐに ひろふみ  
**小国 浩文 議員** 10ページ

- ★1 水害対策の現状と課題は
- ★2 鳥獣被害対策の充実を

いとう ひろよし  
**伊藤 廣好 議員** 12ページ

- ★1 若者の町定着・回帰への取組みを問う
- ★2 西ノ前遺跡公園今後の整備計画は

かなうち まささ  
**叶内 昌樹 議員** 14ページ

- ★1 今後の指定管理者制度の見直しは
- ★2 山間地の集水域の豪雨対策は

あらさわ ひろみつ  
**荒澤 広光 議員** 11ページ

- ★1 最上川増水に伴う内水氾濫の検証を

おくやま けんぞう  
**奥山 謙三 議員** 13ページ

- ★1 部活動改革の経過を問う

さとう ひろゆき  
**佐藤 広幸 議員** 15ページ

- ★1 縄文の女神の里帰りは
- ★2 女神のシンボルタワーの建設を

〈一般質問 掲載要綱〉  
●一般質問本文への掲載件数は、2件以内で3件以上はタイトルのみ掲載。  
●本文の字数は、質問300字以内、答弁は500字以内のため、内容を要約して掲載。  
★マークのついた内容を一般質問本文へ掲載。

## 若者による模擬議会

### 模擬議員8人が登壇

さいとう ひさこ  
**齊藤 寿子 さん** 16ページ

- ★1 魅力あふれる堀内であり続けるために

ぬまざわ りゅう  
**沼沢 龍 さん** 17ページ

- ★1 一人暮らしの方への町の支援策は

たかはし さとみ  
**高橋 里美 さん** 18ページ

- ★1 高齢者の福祉サービスについて問う

ぬまざわ ひろみ  
**沼澤 寛美 さん** 19ページ

- ★1 こどもの居場所づくりについて

いとう えいよう  
**井上 洋平 さん** 16ページ

- ★1 UJIターンの現状と今後の取り組みは

かわい りゅうじ  
**河合 隆司 さん** 17ページ

- ★1 軽量鉄骨造りカーポートに補助を

たかはし けんいち  
**高橋 健一 さん** 18ページ

- ★1 舟形町の少子化対策を問う

さとう こうじ  
**佐藤 浩二 さん** 19ページ

- ★1 地域おこし協力隊について
- ★2 移住定住・専門職大の学生について

〈一般質問 掲載要綱〉 ★マークのついた内容を一般質問本文へ掲載。  
●一般質問本文への掲載件数は、2件以内で3件以上はタイトルのみ掲載。  
●本文の字数は、質問100字以内、答弁は200字以内のため、内容を要約して掲載。

## 議案の採決状況

令和6年 第2回臨時会 議案の採決状況		○賛成 ×反対 ⊕欠席 ⊖退席 ⊘除斥										
議案番号	議案名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	採決結果
		伊藤廣好	叶内昌樹	荒澤広光	伊藤欽一	小国浩文	石山和春	奥山謙三	八畝太	佐藤広幸	斎藤好彦	
承認9~10号	令和6年度舟形町一般会計補正予算(第2号、第3号)の専決処分の承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
承認11号	令和6年度舟形町水道事業会計補正予算(第2号)の専決処分の承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
議案48号	令和6年度舟形町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
議案49~50号	令和6年度舟形町上下水道事業会計補正予算(第3号、第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決

令和6年 第3回定例会 議案の採決状況		○賛成 ×反対 ⊕欠席 ⊖退席 ⊘除斥										
報告3号	令和5年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	※
議案51号	令和6年度舟形町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
議案52~53号	令和6年度舟形町特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
議案54~55号	令和6年度舟形町上下水道事業会計補正予算(第4号、第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
議案56号	災害による被害者に対する町税の特例に関する条例の設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
議案57号	舟形町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
議案58号	最上広域市町村圏事務組合規約の一部変更	×	×	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
議案59号	山形県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
議案60~61号	舟形町教育委員会委員の任命	○	⊕	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
認定1号	令和5年度舟形町一般会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
認定2~6号	令和5年度舟形町特別会計歳入歳出予算の認定(5件)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
認定7号	令和5年度舟形町水道事業会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決

\* 議長は採決に加わらない。 ※ 報告は採決を行わない。

### 議案第58号 最上広域市町村圏事務組合規約の一部変更について

**反対討論**

**副管理者は必要か。**  
新庄・最上地域の町村は予算の多くを地方交付税に依存しており、人口減少で組織のスリム化を検討する時期であります。  
最上広域市町村事務組合には事務局長職があり、新たに「副管理者」として厚遇な特別職の配置は今後、事務負担金の増額が予想され危惧しております。規約変更に対抗します。

伊藤 廣好 議員

**賛成討論**

新聞、テレビ等で最上広域に関するさまざまな報道があります。議案内容について丁寧な説明がありましたが、同組合組織内に何らかの問題があるのではないかと感じました。  
私は報道を見聞きし、大変残念に思います。しかし毎日その組織の中で働く職員の方は、さぞ苦痛なのではないでしょうか。  
働く職場が快適でなければ、業務にも影響を与えかねません。  
何が問題なのか、早急に究明を行い快適な職場環境を取り戻すために、他の役職と兼務の副管理者を暫定的に置くことに賛成いたします。

荒澤 広光 議員

◆令和6年 第3回定例会 会期及び審議内容 ※本会議前、議会運営委員会及び全員協議会を実施

会期	会議種別	午前(10:00~12:00)	午後(13:00~16:00)	傍聴者数	議会中継視聴者数
9月4日(水)	本会議	・町長行政報告 ・一般質問2名	・一般質問4名	2人	21人
9月5日(木)	本会議	・議案審議(報告3号、議案51号~59号)		4人	23人
9月6日(金)	本会議	決算審査特別委員会	各常任委員会(総務文教・産業振興) 全員協議会	—	—
9月7~8日(土~日)	休会	休会		—	—
9月9日(月)	委員会	休会	決算審査特別委員会	1人	—
9月10日(火)	委員会	決算審査特別委員会	各常任委員会(総務文教・産業振興) 全員協議会	—	—
9月11日(水)	本会議	・決算審査特別委員会審査報告 ・議案審議(議案58号、60号~61号)	・閉会中の所管事務調査報告 ・議員派遣の件	—	4人

動画はこちらから→



あらかわ ひろみつ 荒澤 広光 議員

# 最上川増水に伴う 内水氾濫の検証を

## 排水ポンプ稼働台数を増強を検討



氾濫危険水位まで達した最上川（堀内橋）

**質問** 7月25日からの豪雨により堀内川端線の内水位が上昇し、消防団は建設業者と連携し排水ポンプの据え付け作業を行っています。排水ポンプを設置する基準は明確か。今回の内水位は排水ポンプ専用の配電盤まで約35cmの高さまで上昇し安全な場所への移設、増設が急務なのでは。

**町長** 最上川の水位5.2mに達した段階で水防団出动となり、以後は現場の部隊長の判断に委ねられているところ。配電盤の移設、増設によりポンプ稼働台数を増やすことなどの対応を検討してまいります。

**質問** 堀内地区に通ずる県道は全て通行止めになり、急病人、火災等の発生を想定し最上小国川沿いの堤防道路を整備し緊急時の補完道路として要望する必要があると思えます。

**町長** 大雨等の災害時は決壊や越水の危険もあることから堤防の通行はなるべく控える必要があると思います。避難道路として現行の1車線を2車線にするなど、要件等を整備した場合に兼用道路としての利用が可能となる場合があります。

**質問** 今回の被害を関係者で再検証することが急務だとお聞きしますが、



内水氾濫により冠水した町道堀内川端線

**町長** 令和元年度に、最上川中流大規模氾濫時の減災対策協議会による「まるごとまちごとハザードマップ事業」を堀内地区で実施しております。地域防災力の維持・継続・強化を目的に堀内、瀬脇、実栗屋町内会及び国土交通省新庄河川事務所、舟形町、地元消防団が一緒にあって、浸水範囲や安全な避難経路の認等を行いました。この度の記録的な大雨により、今後、新たな課題も見えてくると思います。引き続き、内水処理や避難に関する様々な現状や課題を整理し、関係機関と情報を共有し、住民の皆様が安全・安心して暮らせるように対応してまいります。

←動画はこちらから



おくに ひろふみ 小国 浩文 議員

# 水害対策の現状と課題は

## 今後は夫婦川に排水ポンプの整備を検討

**質問** 令和6年7月25日の夜間に今まで経験した事がない記録的な集中豪雨が起き、新庄、最上地区に甚大な被害が発生し、今後の復旧が待たれるところであり。当町でも舟形第1町内で崖崩れにより家屋の崩壊や、農地への冠水、第3町内寺下地区で床上浸水など多くの災害があり、大変な状況になっております。その中で寺下地区におい



予備ポンプもフル稼働

て昨年増水対策の堤防が完成し、排水ポンプも常設され、予備ポンプも使用されたようですが、それでも浸水を止めることが出来ませんでした。今後、このような状態を解消するため新たな機能強化を図る考えがあるのか。

**町長** 25日午後1時30分から、昨年度設置した常設の排水ポンプ3台を稼働し、26日深夜からは、予備ポンプ3台も稼働し、正午まで排水作業を行っていただきました。対策の1点目が、令和5年度に完成しておりますオートゲートと排水ポンプの整備であります。オートゲートは舟形観測所の河川水位が3mを超

えたところで閉じ、河川から寺下地区への流入を防ぎます。それに伴う内水の上昇は、ポンプ排水により対応しますが、排水能力は、山地排水を大堰が受けることを前提として、50年に1回の確率雨量から内水解析し、口径150mmポンプ6基と口径80mmポンプ2基の毎分13t(トン)で整備をしております。

**質問** 国において今年4鳥獣被害対策の充実を環境省マニュアルに沿って

月に有識者会議を経て、駆除などに対して国から資金などが出る指定管理鳥獣にクマが追加されました。それを受けて町としてどのように対応するのか伺います。

**町長** 当町の町猟友会への支援内容は、県内の鳥獣被害が大きい地域と比べても見劣りしない水準となっております。いずれの支援も、これまで町猟友会と話し合いを重ねながら支援内容を構築してきたものであります。捕獲時の報奨金については現状イノシシのみを対象としており、クマについては交付していない状況です。



生活圏に近付いてきた猛獣

必要に応じて増額について検討してまいりたいと考えております。また、当町としましては、現時点ではこれまでどおりの対応を行ってまいります。それと同時にクマが指定管理鳥獣に指定されたことにより、駆除対策が強化されることを期待しているところであります。特に住宅集積地域については、環境省のマニュアルや県の方針の変更を待って、対応を検討してまいりたいと考えております。

動画はこちらから→



おくやま けんぞう 奥山 謙三 議員

# 部活動改革の経過を問う

## 持続可能な体制の構築を進める



早期の体制構築が求められる部活動

**質問** 私は、令和4年12月定例会で部活動改革について一般質問を行いました。その際の回答に解決すべき課題として、①受け皿となる地域団体等の整備や支援 ②指導者の質の保障・量の確保 ③中体連などの大会の在り方 ④スポーツ等に関する能力を評価する推薦入試等について、多様な観点から検討を行うとの回答について、経過や移

行の進捗状況をお聞きします。また、小中学校、PTA役員、保護者会、各スポーツ関係団体による情報交換会を重ね、場合によってはアンケートを実施するなどし、検討委員会を設置したい旨の回答でしたが、設置されたのか、検討されているのであれば経過等を教えてください。途中経過の回答になると思うが宜しく

**町長** 令和5年7月に舟形町部活動改革検討委員会を設置し、休日部活動の地域移行を行っています。さらに中学校と部活動保護者との情報交換会を開催し、アンケート調査は実施していないが、令和8年度から休日部活動を地域に移行することを共有しながら検討を進めている状況です。令和8年度からの休日部活動の地域移行の当町の体制(案)について、現在の常設部に限ることを前提として、クラブ運営受け皿を、舟形町教育委員会が事務局として担い、コーディネーターを配置し、スクールバス運行に関する事、指導者の資質向上等を担う各クラブの運営主体は保護者会が担い、クラブでの活動は原則、受益者負担で行い、指導は各クラブの指導者が行う。中学校体育連盟・文化連盟主催以外の大会等にはクラブとして出場し、保護者やクラブ指導者が引率し

ます。持続可能な体制を構築、少子化の中でも将来にわたり生徒たちがスポーツに継続して親むことができるためにも広域連携も視野に入れながら検討を進めていきます。

### 休日の部活動地域移行目標

- ◎ 生徒の主体性を育む活動を支援する。
- 生徒が主体的に参加できるスポーツ・文化活動環境の構築として、「舟形町中学校地域スポーツ・文化クラブの設立」し、活動を行う。
- ◎ 教員の時間外勤務時間の削減

### 地域移行基本方針(案)について

- 1 令和8年度より、部活動は平日のみ行う。指導は、教員または部活動指導員が行う。
- 2 令和8年度より、休日のスポーツ・文化活動は地域で行う。
- 3 地域でのスポーツ・文化活動は、原則、受益者負担で行う。

※地域移行は段階的に行うこととし、準備が整った部活動から地域移行を進める。

舟形町部活動改革検討委員会資料より抜粋

←動画はこちらから



いとう ひろし 伊藤 廣好 議員

# 若者の町定着・回帰への取組みを問う

## 国・県と連携、定着・回帰の環境を構築



ふながたWAKU WAKU WORK (舟形中)

**質問** 少子化・人口減少が進む中で、若者、女性の流出が続いております。若者定着・回帰にむけた町の取り組みの現状についてお尋ねします。

**町長** 最上地域の企業や団体と連携し、小中学生を対象とした出張職業体験会や高校生を対象とした「新庄・最上ジモト大学」を開催するなど、地域の企業紹介や仕事の魅力を伝えることにより、

**質問** 町において、女性の定着・回帰のために働きやすい職場、住みやすい地域づくりについて町内会、企業、商工会、施設等の懇談会を開催し、意識改革を醸成する考えはないか。

**町長** 舟形町は、比較的男尊女卑はなく、共稼ぎ

将来、就職やリターン及び定住を考える際に、舟形町が選択肢に含まれるように取り組んでおります。また、学童保育や保育環境を拡充し、子育てと仕事の両立への支援を行っている。女性が活躍できる地域社会の実現を目指して研修会を開催しております。

**質問** 女性活躍推進の中で、舟形町は管理職12名中、女性管理職はいない。最上管内でも各市町村で登用されており、女性管理職の登用を今後考えていただきたい。

**町長** 女性管理職を登用しないということでもありません。いろいろなタイミングの中でそれができてこなかったというだけでございますので、要望は承っております。

**西ノ前遺跡公園今後の整備計画は自然景観に配慮し現公園を維持**

**質問** 町のランドマーク的西ノ前遺跡公園「女神の郷」が平成29年に整備されて7年になります。水洗面やトイレや東屋などの設置を、地域住民から要望があるが、今後の整備計画についてお尋ねします。

**町長** 西ノ前遺跡公園は、縄文の女神が国宝に指定されたのを契機として、

遺跡地一帯の保存を目的に整備され自然景観に配慮して開園されました。水洗トイレの設置については、公園整備の際に計画したところではあります。汚水の処理方法などの衛生面や自然保護

の観点から、地元住民の合意が得られず、設置しないことに判断したところであります。

**質問** 水洗トイレ設置費はいくら位かかるのか

**町長** 浸透式水洗トイレ設置費は当時の見積りで4,500万円と記憶しております。



西ノ前遺跡公園「女神の郷」

動画はこちらから→



# 縄文の女神の里帰りは 県へ「縄文の女神」帰還の 要望を行った

**【質問】** 縄文の女神の里帰りに関して町では、令和4年度に「縄文の女神ミュージアム基本構想」をまとめ検討しているようですが、基本構想は具体的にどの様に進んでいるのか質問します。

**【町長】** 町は、女神を町内に迎え展示、収蔵するための施設「縄文の女神ミュージアム(仮称)」の整備について、基本的な構想を取りまとめました。具体的には、集まり、つながる博物館とし、国宝土偶「縄文の女神」の展示、収蔵スペースの設置、最新のデジタル技術を用いた文化財の展示や体験型演出の導入、カフェや特産品販売、観光情報とPRスペースの設置、住民が気軽に利用できるような、複合施設化を図るなどの構想を盛り込んだ内容です。

また、昨年12月に山形県へ「縄文の女神」の帰還に関する要望を行いました。内容は国宝土偶「縄文の女神」を展示・収蔵するための施設を県として「舟形町内に整備すること」と、「それが困難な場合には、町として施設を整備する構想もあるので、所有権の移転など県として所要の対応及び協力をを行うこと」の2点を要望し、当町の考えをしっかりと伝えたとのことです。そして、機運が高まったタイミングを見計らい、署名活動等も視野に入



町民を見守るように立つ女神

**【質問】** 町の何処にいても女神の存在が認識できる45mのシンボルタワーの配置できない

ながら、「縄文の女神」が舟形町へ帰ってくる事ができるよう、引き続き取り組んでまいります。



役場入口に新設された五体の国宝土偶のレプリカ

**【町長】** 斬新なお考えですが、遺跡地一帯の保存を目的として整備した公園であるため、地下の遺跡に影響を与えるような大きな建築物は配置できないと考えています。

**【町長】** 斬新なお考えですが、遺跡地一帯の保存を目的として整備した公園であるため、地下の遺跡に影響を与えるような大きな建築物は配置できないと考えています。

←動画はこちらから



10月より公募を開始。多様な活用を求む。

**【質問】** 農林体験実習館の予約については個人の予約は受け入れていないようです。町にはコテージ以外の宿泊先が少なく、観光客からは食事付きの宿泊先が求められます。現在の指定管理者は今年度で委託先の指定管理が終了します。今後民間企業等に対して公募をして

**【町長】** 農林漁業体験実習館においては、運営業務仕様書があり、宿泊は10人未満の場合は利用させないことができる内容となっております。しかし、現在の指定管理者の裁量により、4人以上の少数の予約にも対応していただいております。食事の提供についても、希望があれば15人程度まで提供を行っているようです。

**【質問】** この度の集中豪雨により河川はもとより山間部の被害も多く見られました。長沢地区の権現沢等、今回災害にあった集水域(山間地から雨水が河川に流入する地域)について、被害を防ぐための今後の対策について町長に伺います。

**【町長】** 山間地の集水域の豪雨対策は、余水吐等の設置を要望

等へ流れ込むのを防ぐ対策としてえん堤2基が整備されています。また、えん堤の高上げなども計画しているようですが、町でも災害状況により氾濫を防止するため、余水吐等の設置を県へ要望し

ているところです。先ずは、地域住民の安全安心な暮らしを守るため、関係機関との現地調査を行い、被害の軽減が図れるよう検討してまいります。と考えております。



豪雨毎に氾濫する権現沢川(町全体の集水域の見直しを)

# 今後の指定管理者制度の見直しは 今年度から公募を進める

いく考えはないのか町長に伺います。

今年度から公募を進める



さいとう ひさこ 齊藤 寿子

# 魅力ある堀内で あり続けるために

## 合意形成が得られれば助成を検討する

**質問** 旧堀内小学校跡地の芝生広場にベンチや遊具、屋根のある東屋や水飲み場があれば、幅広い世代の交流の場になると思います。地域や有志で遊具を含めた公園の管理や見守りはできないものか町長にお伺いいたします。

**町長** 子どもが遊ぶための遊具の設置の他に、堀内生活改善センターの改修については、町の提案



住宅建築が進む堀内分譲地

に対して地元町内会役員による話し合いが開かれましたが、遊具の管理や施設の除雪など年間を通じた管理体制が整わないという理由から十分な回答が得られなかった経緯があります。堀内地区の地域運営組織において、堀内生活改善センターや遊具及び公園の維持管理に対する合意形成が得られれば、必要な活動に対して補助金による助成を検討してまいります。



ぬまざわ りゅう 沼沢 龍

# 一人暮らしの方への 支援策は

## ニーズ調査を実施し検討する

**質問** 近年増えている一人暮らし世帯への支援策はどう考えていますか。有料ごみ袋を大、中他に単身向けの小サイズを検討できないでしょうか。今後増える一人暮らしの方への新たな施策や支援はどのようにお考えですか。

**町長** 現在舟形町では45リットルの大と30リットルの中のもやせるごみ袋を導入しています。小



既存ごみ袋(右・中)と他自治体ごみ袋(左)との比較

いサイズは6年前に検討しましたが、需要が見込めないことから見送った経緯がございます。世帯の構成人数や利用形態などにより、様々な需要が考えられますので、今後ニーズ調査などを実施しながら、検討してまいります。一人暮らしの方も含めたすべての町民が、健康で安心して暮らせるまちづくりを推進してまいります。



いのうえ ようへい 井上 洋平

# UJIターンの 現状と今後の取り組みは

## 情報発信をさらに進める

**質問** 町内の子どもや保護者へ、UJターンについての意識調査等は行っていますか。今後、町ではUJターンの形態の中で、どの形態に重点を置きますか。町の取り組みについて、今後見直し等は考えていますか。

**町長** 短期アクションプランにおけるUJターンの実績は、「将来、舟形に住んでみたい」は、平均値で41.4%、「若者定住奨学金支援事業」利



ひだまり第2分譲地造成により移住定住が促進されました

用後の町内居住者数は、令和5年度末の実績で4人、移住施策の展開は、令和5年度末実績、年間28件、子どもや保護者への意識調査「地元で働くことに興味を持ちましたか」の項目は、95%と高い数値となりました。重点を置く点は、移住定住のための情報発信や相談窓口による対応の更なる推進により、UJターンや定住を促進してまいります。



かわい りゅうじ 河合 隆司

# 軽量鉄骨造り カーポートに補助を

## 補助対象になるものと捉えている

**質問** 近年はカーポートが設置された住宅が多くなっていると思います。軽量鉄骨造りのカーポートは、耐震性に優れ、雪下ろし作業も軽減します。若い世代が定住しやすくなるためにも、建築に補助をしてはいかかが町長に伺います。

**町長** 軽量鉄骨は、屋根に勾配がつけられ、雪下ろしの負担軽減が可能であり、耐久性や、耐震性にも優れています。



学生用アパートに設置されているカーポート

在来工法木造住宅建築補助金は、町内の業者が施工する車庫、小屋、物置の建築については補助対象としており、軽量鉄骨造りのカーポートも対象になるものと捉えています。補助金制度については、公益性、公平性、効果、補助金額を検証しながら、社会情勢や将来的な見通しを踏まえ見直しをすることが必要と考えています。

# 高齢者の福祉サービスについて問う



たかはし さとみ  
高橋 里美

## 高齢者の不安を解消するための支援

**質問** 免許返納してからの不向きや住みづらさから、**Q1** 舟形町独自のやり方で高齢者への移動支援は無いものなのか、**Q2** 高齢者の方々が今以上に安心して過ごしやすいようにするために町の取り組みを教えてください。

**町長** 他自治体では自治会が主体となり、高齢者を対象とした通院や買い物への運行を行っている

事例があるようですが、当町においては、町内会等におけるドライバーや安全な車の管理及び整備に要する人材の確保の他、実施体制の構築に大きな課題があると考えます。町では現在取り組んでいるデマンド型乗合タクシーをはじめ各種事業を引き続き展開して行きたいと考えています。



玄関先まで送迎してくれるデマンド型乗合タクシー

# 舟形町の少子化対策を問う



たかはし けんいち  
高橋 健一

## 保護者負担の軽減に努める

**質問** 少子化対策として次の提案をします。  
① 企業誘致の促進  
② 結婚、出産、入学祝い金の増額  
③ めがみちゃん商品券の増額  
④ 婚活イベントの復活  
⑤ 他の自治体を参考にしたい町づくり  
以上に関して町長の考えをお聞かせ願います。

**町長** ① 令和5年度より企業立地等促進補助金、雇用促進等補助金制度を

設置。② 結婚祝い金は今年度より住宅リフォーム引越越し費用等に上限60万円を予算化。出産は第1子10万、第2子20万、第3子以降30万に増額。入学祝い金は未実施。③ 商品券は国の経済対策の予算動向を見て検討。④ 婚活イベントは参加者減のため困難。⑤ 町の教育支援策として町が受講料全額負担の「放課後オンライン公営塾」による学力向上事業」などを実施しております。



町の未来を担う子供たち（ほほえみ保育園運動会）

# こどもの居場所づくりについて



ぬまざわ ひろみ  
沼澤 寛美

## 今ある施設の活用



令和6年6月1日に、寒河江市の駅前通りにオープンしたバスケット3x3用コート

子どもの運動する時間が減るため「共助」「公助」により建設されたコート（寒河江市）

**質問** 多様な活動が可能になった今、こども達の運動不足への懸念や文化活動に適した居場所の整備が必要と感ずます。こどもの居場所や交通手段の整備に対して考えはなのか、町長に伺います。

に魅力ある施設を建設、管理運営、維持等については財政的にハードルが高く、町としては、今ある施設を多目的に使う方法については、町内の各団体と連携しながら、広報活動にも力を入れ発信します。交通手段としては村山市の事例を参考に、利用者の負担や予算なども含め総合的に検討してまいりたいと思います。

# 地域おこし協力隊について



さとう こうじ  
佐藤 浩二

## 退任後の定住活動をサポート



満室の学生・教員アパート

**質問** 隊員の住まいを確保したうえで募集すべきでは、また着任期間終了後をどう考えるか。

**町長** 常時隊員の住居を確保するのは経費も高みできませんが、申し込みがあった際は、良好な環境の住居確保に努力します。

活動内容や卒業後の方向性は、必要に応じ話し合いを持ち、退任後はすぐ定住できるよう活動をサポートします。

**質問** 近場での買物の問題等を解決せず、アパートだけ建てても、将来は空室にならないか。

**町長** 買物等は町だけで解決できませんが、要望のあるコインランドリーや自販機の設置を検討しています。2年次からはリース車に補助を検討しており、買物や移動支援につながると考えます。

### ◆議会活動について (14~15ページ)

- ・生活をしていて、目にすることができないこともあり、こうしてまとめて知ることができても良いと感じました。
- ・町の為にも頑張ってください。
- ・いろんな活動に参加すると議員さんも参加されていて忙しい中ありがとうございます。
- ・B&Gの存続が議論されていますが、存続してほしいと思います。広報誌研修会などの活動をされている議員のみなさんのおかげで大変見やすい議会だよりになっています。
- ・模擬議会の開催を楽しみにしていましたが、大雨の影響で中止になり残念です。次回の模擬議会開催を期待しています。
- ・4月~6月と細かくやっている。

### ◆えがったなあ、町民の声、編集後記について (16ページ)

- ・議会だよりは堅い印象なので、このコーナーはとても良いと感じて、長く続けて欲しい。
- ・町民の声が分かり良いページだと思った。
- ・やっぱり子どもの写真はいいですね。
- ・赤ちゃんの顔を見ると舟形町の明るい未来が想像できます。私も昔の活気あった舟形町に戻ってほしいと思います。
- ・赤ちゃんの写真はいつ見ても癒やされて良いですね。
- ・赤ちゃんの笑顔はいいもの、それぞれにあって良い。

### ◆議会・町に対する意見等、その他

- ・今、舟形町で起きていること、議会で議論されていることを、もっと広く、町外にいる若者などにも届くようになってほしい。SNSでの発信は効果的だと思いますので、そのSNSをどう届けるかの工夫が必要であると感じます。
- ・舟形町にお嫁さん、婿さんに来たいと思える町づくりを頑張ってください。
- ・みなさん災害復旧に議員さんはじめ大変だと思います。今が町の団結の時だと思います。協力出来ることあるかもしれません。気軽に声をかけてボランティアなど参加していければと思います。どのように動くといいのか教えてください。
- ・7月25日の豪雨の迅速な災害復旧ありがとうございます。農業者で被災されている方への支援をお願いします。
- ・今回の大雨による災害の被害を教訓にして、施設、機械等の改良、改善など再度確認し、被害が最小限に抑えられれば良いと思います。
- ・モニターは一種の意見で大切なものである。

## モニターさんのご意見にお答えします

Q1. このたびの水害により地区消防団は夜も徹して町内の活動してくれているのを目にしました。雨に打たれながら土嚢を積んだり交通整理をしてくださいと…消防団員には防寒着などしっかり支給してもらいたいです。団員に感謝しかありません。

A1. 舟形町では、消防庁の「消防団の装備の基準」に基づき消防団員へ雨具を貸与し、安全かつ円滑な活動を支援しております。また、令和6年11月中には防寒着も配備し、冬季間の活動を支援してまいります。



# 貴重な意見ありがとうございます。 議会だよりモニターの声

今回は議会だより199号(7月26日発行)に寄せられた意見や感想を掲載しています。いただいたご意見は十分参考にし、今後の編集に役立てていきます。



### ◆表紙について

- ・活気ある様子が伝わって、奥の緑から自然豊かであるものが感じられて良いと思います。
- ・車好きが集まる盛大なイベントであることが伝わって良いと思います。
- ・舟形町でのイベントでこれだけの方が来町されている事がわかる写真で素晴らしいと思う。
- ・ヒストリックカーショーのにぎわいが伝わってくる。大盛況でよかったです。
- ・大勢の人が集まり賑わったイベントの様子が伝わりました。
- ・たくさん車が集まったと思う。

### ◆第1回臨時会、定例会概要、質疑応答について (2~3ページ)

- ・ピックアップされた補正予算にPOINTとして補足があり分かりやすかった。
- ・中央公民館の駐車場が増える事は有難い。

Q1. このたびの水害により地区消防団は夜も徹して町内の活動してくれているのを目にしました。雨に打たれながら土嚢を積んだり交通整理をしてくださいと…消防団員には防寒着などしっかり支給してもらいたいです。団員に感謝しかありません。

- ・長尾橋の長寿命化工事など町民が安心安全な暮らしができ、大変ありがたいです。まんさくの再開も助かっています。
- ・「産直まんさく」の新オープン、うれしく思います。
- ・2~3Pの特にまんさくについて、少しでも除雪が良くなるのは良い。

### ◆採決状況について (4ページ)

- ・わかりやすく、問題ないと思います。
- ・全ての議案に賛成可決なので、町がもっと良くなるように期待します。
- ・問題ないと思う。
- ・議員のみなさん一人一人が慎重に審議されているのがわかります。
- ・多くの議案が採決されているんですね。
- ・採決の多さにびっくり!!

### ◆一般質問について (5~11ページ)

- ・動画をみれるのがとても良いと感じる。
- ・各議員さんが町民の立場となって、町民からの信頼を得られるように頑張ってください。
- ・今回の災害にあたり一人暮らしの対策はとても大切だと思い、少しでも見守ってくれる体制が増えるといいなあと思う。
- ・一人暮らしをしている老人の方が、不安にならないような活動がされていて福祉に手厚いと思います。これからもよろしくお願いします。
- ・HPVワクチンの男性特有のがん予防になることを初めて知りました。女性同様の公費接種が早期に実現されると良いと思います。
- ・私個人として11Pの1人ぐらしの問題がNo.1。

**2名の教育委員会委員の選任に同意**

町村議会広報委員全国研修会  
(令和6年9月25日ニッショール)

3人の講師による広報紙づくりの全国研修会に参加してきました。

最初の講師は元行政職員の中本正樹氏で、「読まれる議会広報紙の作り方」は読んでいただく住民側の視点で作ること。

2人目は広報アドバイザーの平本久美子氏は「パッと伝わる広報紙にーやっつてはいけないデザイン講座」読みやすい紙面にするためのポイント、本文と見出しの文字の文字サイズ、イブの比率が重要であること。

最後は埼玉県寄居町議会広報委員長鈴木詠子氏は「読まれない議会だよりに出す意味なし」と題し寄居町議会の取り組み内容でした。今回の研修で学んだことを重視し町民の皆さんに読んでいただく紙面づくりに努めます。



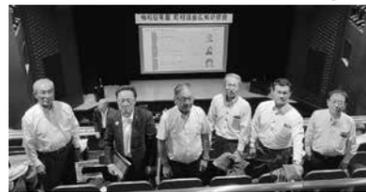
ぬまざわ ひろみ 沼澤 寛美氏 (一の関)

任期は 令和6年10月1日より 令和10年9月30日まで



ぬまざわ ひらく 沼澤 啓氏 (舟形1)

任期は 令和6年10月1日より 令和10年9月30日まで



読みやすい紙面づくりを学ぶ

7月	10日	議会広報常任委員会
16日	議会広報常任委員会	
17日	第41回山形県町村議会広報研修会(山形市)	
22日	令和6年度知事と町村議会議長との意見交換会(山形市)	
24日	議会改革特別委員会(模擬議会リハーサル)	
30日	令和6年度町村議会意見交換会(山形市)	
8月	1日	総務文教常任委員会所管事務調査 全員協議会
2日	総務文教常任委員会所管事務調査 全員協議会	
14日	舟形町二十歳の祝賀式	
21日	議会運営委員会	
22日	令和6年度山形県・岩手県・秋田県合同 町村議会議長・事務局長中央研修会及び 県関係国会議員との懇談会(東京都)	
24日	猿羽根山相撲大会	
26日	27日 総務文教常任委員会行政視察(北海道)	
28日	議会運営委員会	
30日	令和6年第2回臨時会	
9月	4日	第3回定例会(11日)
12日	議会広報常任委員会	
19日	敬老祝賀式	
21日	舟形町模擬議会	
24日	議会広報常任委員会	
25日	26日 町村議会広報全国研修会	
28日	舟形ほほえみ保育園運動会	

紙面の都合上、主な行事を抜粋し、掲載しています。その他、各議員が各地区行事等に参加しています。

総務文教常任委員会所管事務調査報告

1. 期 日：令和6年8月1日(木)

2. 調査内容：教育課の主要事業

(1) B&G海洋センターの老朽化に伴う今後の予定について

○舟形町B&G海洋センター運営実績とB&G財団修繕助成について

①助成率上限：70%以内 (内訳：特A最大助成率60%以内、加算分10%)

②15年連続特A評価優遇について

・1センター1回に限り、大規模改修を実施する場合に優遇措置として5,000万円の助成支援が受けられる。

・舟形町の評価は、12年連続「特A」評価で継続中

③舟形町B&G海洋センターの今後の予定について

・15年連続特A評価での優遇措置助成事業の活用を見据え、舟形中学校の移転と併せ、B&G海洋センター施設の改修と現舟形中学校の利活用も含め、町民ニーズと時代に沿った町スポーツ施設の拠点として総合的に検討していく。

【所感】

12年連続で特A評価され、15年連続特A評価まで継続して優遇措置を受けられるように今後も取り組んでいきたい。耐用年数に応じて改修工事にも必要になるが中学校の移転の施設の利

新たな保育体制に期待

活用については地権者とのしっかりと意見交換をし負担軽減に着手していくことが重要である。

(2) 舟形ほほえみ保育園の運営方針(未満児保育も含む)について

①舟形ほほえみ保育園の保育方針

ア、保育理念：かしこく 元気で 思いやりのある子ども 知徳体が調和し、共に生きる力をもった子ども

イ、めざす子ども像

舟形町学校教育指導の重点「舟形町ヴィーナスプラン」を参考

②「遊び」を通して目指す「知育目標」の設定について【新規】

この度、ほほえみ保育園において、年少児・年中児・年長児の終わりまでに育みたい基礎的な知育目標を設定します。なお、このことについては保小連携により、小学校と情報を共有しながら適切に進めてまいります。

【所感】

今の時代は多様性が求められています。幼児教育は、人間形成の基礎を培う役割を担っており、幼児期の「遊び」は、学びの原点である考えのもとに取り組むことは大変評価致します。今後成長していく子供たちの未来に期待します。

産業振興常任委員会所管事務調査報告

1. 期 日：令和6年6月27日(木)

2. 調査内容：令和6年度 所管各課の主要事業

○まちづくり課

(1) 舟形町総合発展計画(後期短期アクションプラン)策定事業について

(2) 住民主体の地域づくり支援事業について

(3) 公共交通事業(デマンド型乗合タクシー)について

○地域整備課

(1) 東北農林専門職大学総合プロジェクト事業について

(2) 地域強靱化対策事業について

(3) 町道福寿野岡矢場線道路改修事業について

○農業振興課

(1) 鳥獣被害対策事業について

(2) 「産直まんさく」の組織・運営状況について(説明後まんさくにて現地調査実施)

3. 課 題

(1) まちづくり課

今年度主要事業内容・計画の説明

①短期アクションプラン前期で目標未達項目について、後期は目標達成に向けた見直しプランの策定が必要である。

②町民の足の確保については、デマンドタクシーにとらわれず、公共の移動手段の確保の検討が必要である。

(2) 地域整備課

①令和5年度に完成した1号棟を視察したが、雪対策等での指摘改善内容が、今後建設されるアパートに織り込まれているかの確認する必要がある。

(3) 農業振興課

①新たに開店した「産直まんさく」は、お客様目線を重視した経営の取り組み、早期の安定化、黒字化が課題である。

4. 今後の進め方

所管する各課が説明した主要事業については、9月末頃「主要事業の進捗状況」、年度末(2月末頃)には、「主要事業の成果」について説明を受けます。

各課の主要事業については、年間を通した所管事務調査を行っていく。

総務文教常任委員会行政視察

1. 期 日 令和6年8月27日(火)

2. 目 的 国宝土偶の保存活用の取組を資するための公共施設について意見交換

3. 視察場所 北海道：公共施設「函館市縄文文化交流センター」

4. 視察概要

(1) 函館市縄文文化交流センターを整備するに至った経緯

①平成16年12月に3町1村と合併し主要施策の1つとして中土土偶などの出土品の保存展示施設や遺跡公園を整備することとされた。

ア、建設費：6億7400万円(平成18年度～平成23年度)

「巨ノ島遺跡・縄文文化交流センター」と一体になった「道の駅」として整備。

イ、国宝土偶を展示・収蔵するための施設等の指定管理費：4900万円

【所感】

函館市縄文文化交流センターの整備規模について、コンパクトな展示施設で、施設規模としては、最適な整備内容と感じた。視察、検討の上、早めに着手すべきである。



国宝「中土土偶」

議会だよりふながたの表紙写真を募集します。

「議会だよりふながた」を、住民参加型のより身近な広報誌とするため、表紙の写真を募集します。

■応募方法：写真データを議会事務局へ持参するか電子メールで送付してください。

■問 合 せ：舟形町議会事務局 32-0030 gikai@town.funagata.yamagata.jp

**表紙のふながた**

議会だより「ふながた」は昭和50年11月に第1号が創刊されて以来、50年が経過し本号は200号になりました。

7月25日からの豪雨による被害状況は町道59カ所、町管理河川13カ所、農地83カ所、農業用施設92カ所、林道8カ所、その他水道や農集排、下水道施設、建物全壊3棟、床上浸水11棟、床下浸水19棟、墓地損壊1団地など大きな被害を受けましたが、国県の支援、補助をいただき復旧復興に向けた取り組みを行っておりま

(荒澤 広光 撮影・記)

次回の定例会は 12月上旬に開催される予定です。



# シリーズ

赤ちゃん  
うまれて

# えがったなあ



### ♥名前の由来は何ですか？

きょうだいの名前に月と星、凧と入っているので、月と星をつなぐ空と、凧々しい澄み切った空気の日に生まれたので名付けました。将来、凧々しく、広い空のような心をもった人間になってほしいです。

### ♥舟形町での育児はどうですか？

支援センターの先生や、保健師の方が声をかけてくれるので、気になった事など気軽に相談しやすいです。

### ♥舟形町のいいところ・改善してほしいところは？

- ・自然にあふれている所
- ・地区の行事が多く、近所の方々と仲が良い所
- ・冬に歩道の除雪がされていない事があり、学生さんが大変そうにしている所

### ♥舟形町に望むことはありますか？

病院（小児科）は新庄に行かないとないので、冬場等とても不便に感じるので、舟形にも小児科ができれば大変助かります。人口が少なく、子どもの数も少ないので、もっと人口を増やす取り組みを考えてほしいです。

【お願い】「えがったなあ」に出てみませんか。

舟形町に嫁いでこられたお嫁さん・お婿さん、その他「えがったなあ」に出てみたい方を募集します。

(連絡先) 舟形町議会事務局 ☎32-0030

## 今回は、西堀の

沼澤 貴宏さん・沙織さんの

お子さんの凧空ちゃん(7ヶ月)です。

皆さんよろしくお祈りします。

## 声

皆さんの声を掲載する欄です。議会に対するご意見やご要望等、どうぞお気軽にお寄せくださるようお願いいたします。

私は、経壇原町内で大工をしています。

昨今、物価高騰や職人不足など厳しい環境の中ですが、舟形町や商工会などの助けをいただきながら、仕事を継続することが出来ていることに大変感謝をしています。

しかし、来年4月に建築基準法の改正があり、例えば、床をリフォームする場合、下地から解体し床面積の半分以上張り替える場合には確認申請が必要になります。今まで以上に事前調査が必要となり経費も増加し、工事期間も長くなり、お客様の負担も必ず増えてきます。手続が必要なお仕事には補助をして頂けると、地元業者の活性化、お客様の負担軽減にも繋がると思っていますのでよろしくお祈りします。地元で仕事をさせてもらっているのです、今まで以上頑張る所存です。



おおば よういち  
大場 洋一 さん  
(経壇原)

(議会より)

地元業者の育成と定住促進のためにも、バックアップしていきます。

## 編集後記

7月25日発生の豪雨災害で被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

自然災害の恐ろしさをあらためて感じたところであります。町では復旧支援の補正予算総額22億円超の大型予算を8月30日の臨時会で可決復旧に取り組んでおります。

さて、議員のなり手不足、多様な人材の政治参画の機会として、このたび、40代を中心の若者8名(男性5名・女性3名)の皆さんによる「模擬議会」を9月21日に、議会としてはじめて開催することができ、執行部と議論を深めました。

今後の選挙において若者・女性の皆さんの立候補を期待しております。

(伊藤 廣好 記)

### 発行責任者

- 議長 齋藤 好彦  
議会広報常任委員会  
委員長 荒澤 広光  
副委員長 小国 浩文  
委員 伊藤 欽一  
委員 叶内 昌樹  
委員 伊藤 廣好